

令和3年度 第1回範教錬士会講習会報告

日時 令和3年4月3日(土) 4日(日)

場所 小松市武道館弓道場

内容 4月3日(土) 午前 研修会

参加者：教士七段9名

意見交換：テーマ「教士七段としての役割、自覚、心構え」

日頃指導して疑問に思っていること、指導に苦勞していることなど出し合い意見交換を行った。

その後、中條大輔、山本真理子、道越良治3先生方による1つの射礼を拝見射礼研修を行い、午後からの講習会に備えた。

講習会の主任講師、審査員などを務める機会の多い教士七段の先生方が集い話し合いを持つことができ、有意義な時間を作ることができた。

4月3日(土) 午後 講習会

参加者：教士六段、錬士六段14名

講師：水橋美喜夫、坂本祐子、木下鋼典、宮本光子

1つの射礼の講習

久々の1つの射礼でもあり、体配や射技についてかなり細かい所まで講師から指摘があり、意義のある講習であった。

意見交換：テーマ「教士六段、錬士六段としての役割、自覚、心構え」

指導的立場にあることを自覚し、日頃から自らを高める稽古が必要である。

4月4日(日) 1日 講習会

参加者：錬士五段13名

講師：水橋美喜夫、木下外治、坂本祐子、木下鋼典、宮本光子

矢渡、その講評、一手行射、体配指導、持的射礼、射技指導

意見交換：テーマ「錬士五段としての役割、自覚、心構え」

1日の講習で、体配、射技、射礼などたっぷり時間をかけることができまた受講者に対して講師の人数も多く、細かいところまで目が行き届き受講者にとっては、これから自らを磨くきっかけとなる、大変有意義な講習会になったと思われる。また、目通りの位置、執弓の姿勢など教本でよく確認すること、胸廓とはどこかについても話があった。